

高専カンファレンス in 仙台2 Feedback

高専カンファレンス in 仙台2実行委員会

今回の仙台2は高専カンファレンスでは初めての「平日開催」であるとお聞きしました。平日開催の大きな理由は、来ていただいた方に仙台七夕も楽しんで頂くということだったからです。夏休み期間中ですし、学生主体のカンファレンスとなるよう進めていきました。しかし、タイミングが悪い事に、8月6日の時点で夏休みに入っていた東北の高専は、仙台高専と鶴岡高専のみでした。東北に広めようという目的もあったのですが、夏休みに入っていないことには何もできませんでした。また、やはり平日なので、社会人の方は来ていただくことが難しかったと思います。興味をもって、参加したいと思っていただいた社会人の方々には、申し訳ないと思っています。

また、今回のカンファレンスは参加者の平均年齢が低いものとなりました。週末の開催では、社会人の方々も参加されて、発表などのレベルが変化すると考えられます。あえて平日開催にする点として、発表のレベルが把握しやすいこと、社会人のレベルにとらわれない、よく見られるカンファレンスではなく、新鮮で、ちょっと新しいカンファレンスになったのではないかと思います。カンファレンス部分以外にも、テーマに興味をもってきてくださった方もいて、初めてお会いする方もいました。新しい方々との交流も増えて嬉しかったです。

以上の点から、平日開催は、学生が多いので年が近い参加者が多い。つまりと学生にとっては割と気軽に参加しやすいのではないかと思います。(平日はやはり参加しにくいわけですが…。)

加えて、今回の in 仙台2では参加者14人と少人数での開催となりました。しかし、少人数で行われるカンファにもとても魅力があることに気づきました。参加者数が多くなると、どうしてもある集団ごとの交流となる傾向が見られると思いますが、一人一人と目を合わせてお話することができましたし、それぞれの学校についてなど、あまり会うことができない、遠方からいらっしゃった方々ととても楽しい時間を過ごすことができました。大人数はやはり盛り上がりますし、素晴らしいと思いますが、少人数も少人数なりに良いところがあると思いました。

次に「英語発表」についてです。

「(簡単な英語でも良いので)英語発表に触れてもらう」とのことで少しずつ英語を取り入れて各自で発表していただきました。

とはいえ、全体を通してみれば、やはり日本語がほとんどで、英語は割合としては3割くらいでした。このぐらいから、工夫を重ねていけば、きっとより良いものになります。

次にもし英語発表のあるカンファレンスを行う際の目安になれば良いと思います。